

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 品川リフラクトリーズ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
----	-------------------------------	----	---

本票作成	部署名：安全環境部
------	-----------

主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	県内に西日本工場として岡山製造部、日生製造部、玉島製造部の3製造部を有する。 3製造部合計で従業員数は440名(本年4月)、耐火物生産量は7,340t/月。
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	西日本工場 岡山製造部	備前市東片上88
	②	西日本工場 日生製造部	備前市日生町寒河180
	③	西日本工場 玉島製造部	倉敷市玉島乙島新湊8252-10

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	34,830 t CO ₂	36,450 t CO ₂	33,122 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	西日本工場 岡山製造部	31,827 t CO ₂
	②	西日本工場 日生製造部	3,303 t CO ₂
	③	西日本工場 玉島製造部	1,319 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 0.5 %	4.9 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量 26 : CO ₂ 34,830t 生産 84,537t 原単位 0.412 27 : CO ₂ 37,541t 生産 85,429t 原単位 0.439 28 : CO ₂ 36,450t 生産 88,033t 原単位 0.414	原単位当たり排出量		
		基準年度	(28)年度	目標年度
		0.412	0.414	0.392
	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

CO₂排出原単位は、H26年度の基準値に対し△0.5%と若干超過した。しかし、昨年度比では、5.7%の削減(0.439t-CO₂→0.414t-CO₂)となっており、岡山製造部で燃料の一部をLPGから都市ガスへ変更した効果が現われたものと判断している。
 増加の主因として①岡山製造部で、焼成やボイラー燃料をLPGから都市ガスに、②玉島製造部でボイラー燃料をA重油から都市ガスに変更ことでCO₂排出量の減少効果が認められたものの、③岡山では品種構成の変化や、④日生製造部では、CO₂排出原単位の高い高機能造粒パウダーが増産となったため、CO₂原単位が増加した。今後も客先要望で高機能化となり、よりCO₂排出原単位の高い商品が生産増の傾向となるが、省エネ新設備の導入等により効率的使用でCO₂原単位の低減を見込んでいる。

【推進体制】

社内の省エネルギー推進体制によりエネルギー使用の合理化に取り組んでいる。生産集約を全社規模で行うとともに、管理標準に基づき各工場でエネルギー管理を進めている。

また引き続き岡山製造部では、焼成燃料を現状のLNGから都市ガスに変更することで安定供給とCO₂削減計画を推進する。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(16年度実施分) 岡山製造部	(16年度実施分) 省エネ型油圧プレスへの導入 デマンド制御によるピークカット 燃料変更 (LPG→都市ガス)
日生製造部	乾燥炉の燃料原単位の削減 作業等灯のLED化
玉島製造部	ボイラー燃料の変更 (A重油→都市ガス)
(今後実施予定分) 岡山製造部	(今後実施予定分) インバーター付コンプレッサへの更新 省エネ型油圧プレスへの導入 燃料変更 (LNG→都市ガス)
日生製造部	作業場のLED化
玉島製造部	作業場のLED化

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--